

おばけでござんしゃ

(上演時間 約10～15分)

作・脇本ゆかり

●登場人物 (10～20名)

- 子どもA (ボールを持っている)
- 子どもB (女の子・リボンをつけている)
- 子どもC (おにぎりを持っている)
- やんちゃおばけたち
- おしやれおばけたち (女の子)
- くいしんぼおばけたち
- 運転手さん (制帽をかぶっている。実はおばけ)
- ナレーター

●あらすじ

遊園地のおばけ電車に、子どもたちが乗りました。駅に停まるたび、色々なおばけたちがやって来ますが、子どもたちには見えません。おばけと一緒に、ガツタンゴットン。みんなは、どこへ行くのかな？

●作者より

テーマは、「みんな、ともだち」。おばけとだつてすぐに仲良くなれてしまいそうな、まっさらな心の年少さん向けに作りました。劇中に電車ごっこやボール転がしを取り入れ、楽しみながら演じられるよう工夫してあります。身ぶり手ぶりや歌を取り入れるなど、自由にアレンジを加え、楽しい舞台に仕上げてください。

●大道具、その他

- ダンボールやひも等で、子どもが縦一列に並んで、持って歩けるような電車を作ります。電車の側面におばけの絵を描くなどすると、雰囲気が出ます。少人数しか乗れない長さの電車と、全員が乗れる長さの電車の二種類を作ります。
- 電車は、4か所の駅に停まります。舞台中央に、駅っぽい背景画や駅名表示板(駅名を書いた紙を取り替えられると、なお良い)があると、わかりやすいです。(駅名は、「ゆうえんち」「いちばんもり」「にばんもり」「おばけのもり」)
- ボールは、遠くからでも見える大きさを、かつ子どもが持ちやすいものを選んでください。リボンは、目立つ色、目立つ大きさを作り、子どもBの頭のとっぺんにつけます。(おばけがりボンを取って、自分の頭につけるシーンがあるので、それができるよう、工夫して作ってください) おにぎりは、5～6個用意し、斜めかけポシエットなどに入れ、子どもCに持たせます。
- 電車が動くシーンのたびに、みんなで歌を歌うなどすると、楽しい舞台になりそうです。

♪ 音楽①	♪ オープニング曲（4～8小節程度）	—幕が開く—
ナレーター	ここは、遊園地です。その少し外れに、子どもだけが乗れる電車の駅がありました。	舞台中央の駅（駅名は「ゆうえんち」に、電車が停まっている
♪ 音楽②	♪ 登場の音楽（4小節程度）	運転手さんが、電車の一番前に乗っている
子どもA	（電車を指さして）あ。電車だ。	子どもたち、登場する
子どもたち	乗ろう。乗ろう。	子どもたち、電車に乗る（間隔をあけて）
運転手さん	おばけの森行き、出発します。	
子どもB	おばけの森？	
子どもC	おばけがいるの？	
子どもたち	こわいよー。	子どもたち、ぶるぶる震えるような身ぶりで
運転手さん	おばけはいるけど、君たちには見えないから、こわくないよ。	
子どもA	ほんとに、こわくない？	
運転手さん	もちのろんろん。では…。	電車、動き出す
♪ 効果音	（前方を指さして）しゅっぱーつ、しんこーう。	効果音代わりに、ナレーター又は子どもたちが、口で表現しても面白い
ナレーター	さあ。電車が動き出しましたよ。	電車、舞台上を一周して中央にもどる
♪ 音楽③	♪ 走る電車の音楽（できれば合唱）	駅名を「いちばんもり」に替える
ナレーター	電車は、次の駅に着きました。	電車、駅に停まる
♪ 音楽②	♪ 登場の音楽（4小節程度）	
やんちゃたち	ぼくたち、やんちゃおばけだよ。	やんちゃおばけたち、登場する